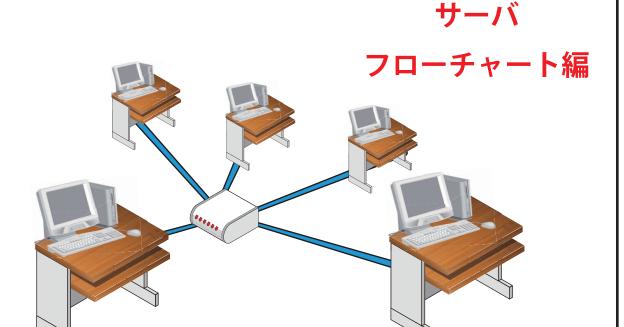
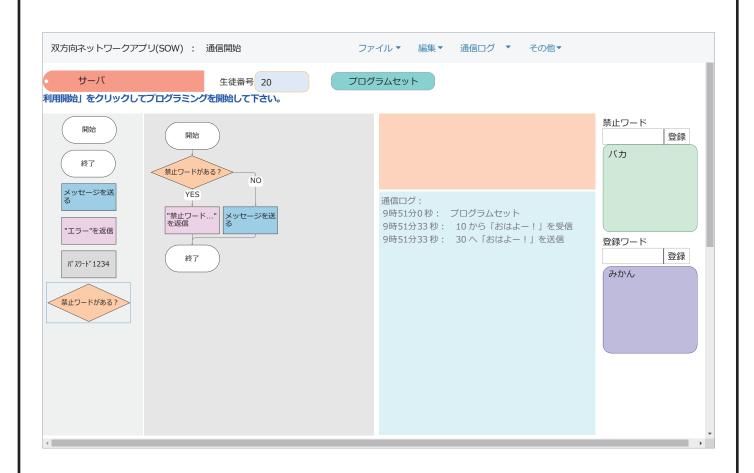
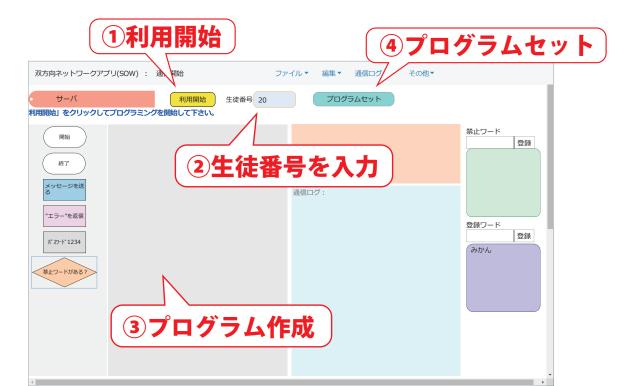
双方向プログラミング解説・操作方法





プログラミングの流れ



①「利用開始」を押し、ネットワークに参加する(P.2)



②生徒番号を入力する



③プログラムを作成する(P.3)



④「プログラムセット」を押し、プログラムを確定する

プログラムを作成・修正した時は「プログラムセット」ボタンを押すと セットした時刻が表示されプログラムが反映されます。

プログラムセット



プログラムセット

: 15時41分39秒

ネットワークグループの確認、手動設定

双方向ネットワークで通信を行う場合、同一のネットワークグループである必要があります。 もし、クラス内で同一のネットワークにない場合は手動にてネットワーク番号を指定する必要があります。

●確認方法

①利用開始をクリック

利用開始

: 停止 : 通信開始

②「その他」→「利用中のネットワーク番号」をクリックし、現在のネットワーク番号を表示

する



③ネットワーク番号が全員一致しているか確認する



利用中のネットワークが

同一の場合:そのままで使用できます。

異なる場合:下記手動設定を行って下さい。

●手動設定方法

①一度アプリを再読み込みする

Chromebook の場合:「 **で** 」キー

Windows の場合:「F5」キー

②「その他」→「設定」をクリックし、設定画面を表示する



③ネットワーク番号を入力する(先生に確認しクラス全員が一致するようにする)



④利用開始をクリック

利用開始

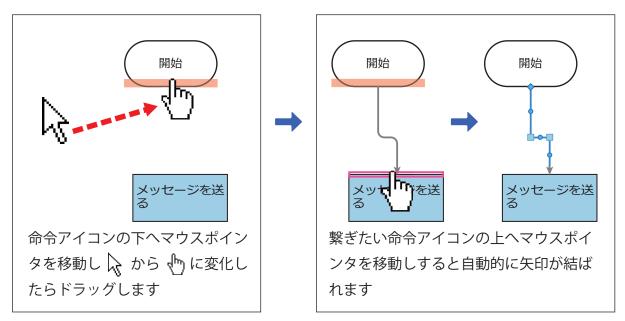
⑤上記の確認方法②③を行いネットワーク番号が一致しているか確認する

プログラムの作成

●コマンドの配置



●コマンドの連結



●矢印の引き直し

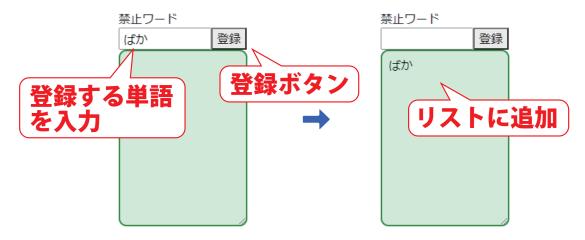
矢印を引き直す場合は一度削除して再度連結して下さい



禁止ワード(登録ワード)登録・削除

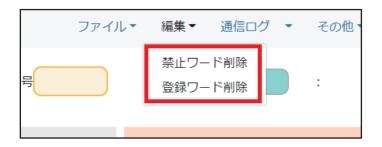
●登録

禁止ワード(登録ワード)を登録するには、テキスト入力欄に入力し「登録」ボタンを押すとリストに追加されます。



●削除

登録した禁止ワード(登録ワード)を削除するには、メニューの「編集」→「禁止ワード削除」もしくは「登録ワード削除」をクリックすると削除されます。



その他機能について

●通信ログ

サーバに記録された通信ログはテキストファイルとして出力することができます。 メニューにある「通信ログ」をクリックし「ログの保存」をクリックすると出力する ことができます。(「ログの暗号化」にチェックを入れるとすべてのログが暗号化されます)

●保存・読み込み

お使いのハードウェア本体へ保存・読み込みする「ブラウザへ保存」と、外部ファイルへ保存・読 み込みする方法の2通りあります。

用途等使い分けしてご使用ください。

ブラウザへ保存・読み込み・・・ ブラウザの持つストレージへ保存、読み込みします。 ファイルへ保存するよりも簡単に取り扱いできますが、セキュ リティによりストレージがリセットされ消える可能性がありま

すので、実環境にてお試しいただくことをお勧めいたします。

ファイルへ保存・読み込み・・・ファイルとして保存、読み込みします。

初期環境ではダウンロードフォルダに保存されますので、任意でファイルをコピー等して下さい。

(設定により保存先を選択できるように変更することも可能)

●レポート作成

プログラムレポートを印刷することができます。 印刷環境によって PDF に保存することも可能です。

IP アドレスの調べ方(ローカル IP)

- ■Chromebook の場合
 - 画面右下の JA ♥ 14:22 をクリック





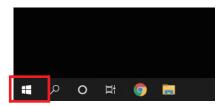
- (2) 無線 LAN をクリック(3)「①」をクリック
- (4) IP アドレスが表示されます







- ■Windows10 の場合



③ カーソル位置で「ipconfig」と入力し 「ENTER」キーを押す



(2) Windows PowerShell をクリック



(4) IP アドレスが表示されます

